

令和 4 年度 道 徳 教 育 全 体 計 画

宮城県仙台西高等学校

<p>(1) 関係法令等</p> <p>日本国憲法 教育基本法 学校教育法 学習指導要領 宮城県学校教育の方針と重点</p>	<p>(3) 学校の教育目標</p> <p>①知を愛し、豊かな創造性と柔軟な思考力をそなえた視野の広い人間を育てる。 ②人を愛し、自然との親しみをとおして生きる力養い、能動的で魅力あふれる人間を育てる。 ③己を愛し、自律的な生活態度を育てるとともに、他とよく協調し、責任感の強い人間を育てる。</p>	<p>(11) 道徳教育の推進体制</p> <p>(道徳教育推進教師) 全体計画を作成し、各教科、総合的な探究(学習)の時間、特別活動における指導の内容及び時期並びに家庭や地域社会との連携の方法を示す。 (総務部) 公的行事を通じて自律性・社会性を育成する。 (教務部) 自律的・主体的な学習態度の育成と習慣化を図る。 (生徒指導部) 特別活動、生徒会及び部活動を通じ自主と協調の精神を育成する。 (進路指導部) 進路実現に向けて、自己の在り方を的確に判断し、積極的に努力する態度を育成する。 (保健厚生部) 健康的な生活を実践するための習慣を育成し、奉仕の精神と心身の健康を育成する。 (情報図書部) 情報社会で安全に生活するための判断力や望ましい態度を育てる。読書活動を通じて、受容的な態度を自ら育てていくとする態度を養う。</p>
<p>(2) 地域の実態、社会の要請、生徒の実態、保護者や教職員の願い</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒は様々な地域から通学し、素直な性格な者が多い。 基本的な生活習慣が身についている生徒が多く、他者への思いやりがある言動が見られる。 交通マナーの定着が期待される。 目標実現のための積極的な取り組みが期待される。 PTA と協力し生徒の健全育成に努め、近隣の地域行事への積極的な参加に努める。 社会の一員として貢献できる活動やボランティア等の紹介、実施を促す。 	<p>(4) 学年の重点目標</p> <p>(1 学年) 高校生としてふさわしい態度と行動ができる生徒を育成する。 (2 学年) 将来の目標達成のために実力の養成をはかり、中堅学年としての自覚を持たせる。 (3 学年) 最高学年としての自覚と責任を持たせる。進路希望実現に向け、自主的学習態度の定着と学力の向上を図る。社会人・成人となっていくにあたっての資質を向上させる。</p>	
	<p>(5) 道徳教育の重点目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自他の生命を尊重し、人間の在り方や生き方を考え、思いやりのある生徒を育成する。 ○自己探求と自己実現を図り、主体的な判断の下に行動できる生徒を育成する。 ○伝統と文化を尊重するとともに、公共の精神を貴び、他者と共によりよく生きる生徒を育成する。 	
<p>(6) 各教科・科目、総合的な学習の時間／総合的な探究の時間、特別活動における指導方針及び内容</p> <p>〔国語〕表現力と理解力を育成するとともに言語感覚を磨く。さらに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重する態度を育てる。 〔地歴〕我が国及び世界の形成の歴史的過程と生活・文化地域的特色についての理解と知識を深める。 〔公民〕人間の在り方生き方について自覚を育て、平和で民主的な国家・社会の形成者としての資質を養う。 〔数学〕グループ学習など学びあいや言語活動を充実させると共に、数学的活動を通して論理的に思考し表現する力を育てる。 〔理科〕自然の事物・現象の探究を通して、地球の環境や生態系のバランスなどの事象を理解し、熟と人間との関わりについて認識を深める。 〔保体〕競争や協働を通して、公正、協力、責任などの態度を育て、一人一人の違いを大切にしようとする意欲を育成する。 〔芸術〕生涯にわたり芸術を愛好する心情を育て感性を高め、豊かな情操を培う。 〔英語〕英語を通してコミュニケーション能力を養うとともに、題材を通じて国際理解や国際協調の精神を醸成する。 〔家庭〕家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活、環境などの基礎的な理解を図るとともに、課題を設定して解決策を構想する力を養う。 〔情報〕情報に関する科学的な見方や考え方を養うとともに、社会の中での情報及び情報技術が果たしている役割や影響を理解する。 〔総合的な探究の時間〕地域環境や福祉、健康などの現代的な諸課題に対する横断的・総合的な課題を、自己の興味をもとに主体的に探究しようとする見方や考え方の方法を理解し、それを実践しようとする態度を育てる。 〔特別活動〕生徒会活動を通して異年齢集団での人間関係をよりよく形成しようとする態度を培い、生徒会行事では協働して課題解決していく自発的、自治的な活動を通して、学校生活へ参画しようとする意欲を高める。</p>		
<p>(7) 特色ある教育活動や体験的活動との関連</p> <p>近隣福祉施設や医療施設への訪問清掃や地域清掃を通して、他者との接触、地域状況などを把握して、積極的に地域の課題に関わろうとする社会参画意識を育てる。また、生徒会行事を通して主体的な判断してよりよい人間関係の構築しようとする態度を育成する。</p>	<p>(8) ホームルーム、学校の人間関係、環境の整備や生活全般における指導の方針</p> <p>LHR 活動を中心として、体験活動や生活を改善する話し合い活動などを通して、社会において自立的に生きることや社会の一員としての自己の生き方を探究する。</p>	
<p>(9) 家庭・地域との連携</p> <p>PTA との健全な育成を目指した活動を計画・実施して、自律的な生活態度を育てるとともに、他とよく協調し、責任感の強い人間を育てる。また、地域ボランティア等への参加を促すと共に道徳教育全体計画を HP に掲載する。</p>	<p>(10) 異校種との連携</p> <p>近隣中学校に限定することなく中学校訪問を実施することや、積極的に出前授業を受け入れるなど中高連携を進める。また、大学からの出張講義を計画して高大連携を推進すると共に、情報交換等を実施する。</p>	